

2019年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回（4月19日）	《講演会》 「Health Reform under the Trump Administration: Focusing on Roles of Executive, Legislative and Judicial Institutions」 ディーン・M・ハリス氏（ノースカロライナ大学公衆衛生大学院 准教授）
第2回（6月21日）	《講演会》 「映画における「形態」への問い～反逆とスーパーバグ～」 イゾルデ・スタンディッシュ氏（ロンドン大学 名誉教授）
第3回（7月11日）	《講演会》 「デンマークの自閉症教育の理念と動向～ブロンデア学校における試みと実践～」 タンブル 有田 妙氏 （デンマーク アルバスルンド市 / 特別支援学校 Brøndagerskolen 教員）
第4回（8月6日）	《講演会》 「Building Progressive Social Policies Today: Lessons from the United States and Canada」 ダニエル・ベランド氏（カナダ マギル大学 教授）
第5回（10月8日）	《講演会》 「The Total Turing Test. Robotics from Japanese and European perspectives トータルチューリングテスト：日本と西欧におけるロボティクスの見解」 ジョス・デ・ムル氏（オランダ エラスムス大学 正教授）
第6回（2月14日）	《講演会》 ①「マリアグジェゴジェフスカ大学における研究レビュー」 バルバラ・マルチンコウスカ氏（ポーランド マリアグジェゴジェフスカ大学 副学長） ②「ポーランドにおける特別な教育的ニーズのある子どもたちの社会的魅力」 エヴァ・マリア・クレシャ氏（ポーランド マリアグジェゴジェフスカ大学 教授）
第7回（3月7日） ※中止	《講演会》 「欧米諸国のアクティベーション政策はどう変わったかー日本の政策への示唆」 Ivar Lødemel 氏（オスロ メトロポリタン大学 教授） Bjørn Hvinden 氏（オスロ メトロポリタン大学 教授） Flemming Larsen 氏（デンマーク オールボー大学 教授）

※第7回に予定していた研究会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。